こちら議会広報部

2007
第8号

発　行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編　集／議会広報編集特別委員会
印　刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

●12月定例会……1～3P
●一 般 質 問 ……4～5P
●委員会構成と報告 ……6～7P
●委員会研修他……8P

12月定例会

一般会計補正予算（歳入歳出それぞれ）16万４千円を追加し総額162億270万７千円とする。

平成18年第４回定例会（12月定例会）が12月８日から19日までの12日間の日程で開かれました。

町長から提出された議案（人事案件１件、一般会計、特別会計、公営企業局事業会計補正予算を都合８件と条例の一部改正５件、広域にかかる一部事務組合等の設立や規約改正に伴うもの３件、公の施設に係る指定管理者の指定案件６件、工事請負契約１件、その他３件の計26件）を慎重に審議し、全件原案どおり可決いたしました。

また、一般質問では、４名が登壇し、「財政状況に関すること」「中学校の統合問題」「岩国基地の問題」を含む９つの項目について町長、教育長の考えをただしました。

さらに、継続審議中の請願、陳情各１件については、引き続き継続審査とすることとし閉会いたしました。

12月定例会

諮　問

第 1 号　人権擁護委員候補者を承認
（奥原法城氏の推薦を承認）

議　案

26議案を議決

補正予算		補正額	総額
第1号	一般会計	▲16万4千円	162億　270万7千円
第2号	国保事業特別会計	11万9千円	36億1,620万8千円
第3号	介護保険事業特別会計	（支払い区分変更）0千円	27億9,572万　円
第4号	簡易水道事業特別会計	280万9千円	10億9,728万4千円
第5号	下水道事業特別会計	189万3千円	4億8,490万2千円
第6号	農業集落排水事業特別会計	▲34万7千円	5億3,521万　円
第7号	渡船事業特別会計	26万　円	8,578万6千円
第8号	公営企業局事業会計	収入予算 ▲2億1,323万3千円 支出予算 ▲1億3,367万5千円	41億1,367万4千円 41億2,871万9千円

第 9 号　平成19年度町営土地改良事業の実施について
（西屋代、石小田から大島庁舎周辺地区の排水施設整備）

第 10 号　新たに生じた土地の確認について
（大字久賀字西脇東7259の２から同大字宗光6616の９までに沿接する一般国道437号に沿接する堤地先公有水面）

土地改良事業計画平面図

第 11 号　字の区域の変更について
（上記、新たに生じた土地を、大字久賀宗光の区域に編入する）

第12～16号　条例改正

第 17 号　柳井地区広域消防組合規約の変更について
（市町合併にともなう負担比率の改正）

第 18 号　山口県後期高齢者医療広域連合の設立について
（後期高齢者医療制度に関する事務を処理するため、県下全域13市９町で設立）

第 19 号　山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
（山口県後期高齢者医療広域連合の追加）

柳井 広域 消防

第20～25号　指定管理

第 26 号　平成18年度三蒲漁港整備工事の請負契約の締結について
48,980,400円で井森工業株式会社と契約（落札率　72.2%）

経費節減!! 各施設の指定管理者（優先交渉権者）決定

本年８月から開始した、各施設の指定管理者に関する公募及び選定報告があり、下表のとおりの優先交渉権者を議決した。

※管理料は、債務負担行為限度額の１年あたりの平均金額
（　　）は、対前年度に対する削減見込額

施設の名称（略称）	指定管理者（優先）及び指定期間	管理料	18年度予算額
久賀歴史民俗資料館 町衆文化伝承の館 町衆文化の薫る郷公園	特定非営利活動法人 周防大島自然体感クラブ H19.4.1～H22.3.31	12,500,000 (4,344,000)	16,844,000
日本ハワイ移民資料館	大島国際交流協会 H19.4.1～H22.3.31	2,450,000 (27,000)	2,477,000
サン・スポーツランド片添 片添ケ浜温泉遊湯ランド 青少年旅行村	社団法人 東和ふるさとセンター H19.4.1～H22.3.31	4,000,000 (166,000)	4,166,000
陸奥野営場・陸奥記念館 なぎさ水族館	岩国松山高速株式会社 H19.4.1～H22.3.31	4,200,000 (7,600,000)	11,800,000
総合交流ターミナル （道の駅）	（有）サザンセトとうわ H19.4.1～H22.3.31	0	0
竜崎温泉潮風の湯	有限会社　千　鳥 H19.6.1～H22.3.31	0	0

久賀歴史民俗資料館

日本ハワイ移民資料館

陸奥記念館

条例の一部改正

12	固定資産税の課税免除に関する条例（公益的施設については課税免除）	19年１月１日
13	町立保育所設置条例（町立和佐保育所の廃止にともない、その項を削除）	19年４月１日
14	斎場条例（大島斎場の追加）	19年４月１日
15	簡易水道事業給水条例（水価の変更に伴う料金表、徴収方法の改正）	19年４月１日
16	商工業者特別融資に関する条例（個人事業者は、保証人が不必要となる）	19年１月１日

一般質問

田村三郎 議員

乗り切れ財政危機!! 要改善!! 窓口対応

問 北海道夕張市は財政破綻したが、本町も同様に厳しい財政状況にある。職員の中には「このままでは財政破綻するので、給料をカットしてでも食い止めなければならない」と考えている人もいる。我々議員も定数を削減し、報酬もカットすべきと考える。町長としての具体的方策について問う。

答 （町長）職員に対しては、一般財源ベースで平成18年度と比べて19年度は、５％カットでの予算要求を指示している。本年３月に策定した行政改革大綱や集中改革プランを基本に、様々な取り組みを実施する。歳入をきちっと量り、見込まれる歳入の範囲内で、事務並びに事業を実施していく。

建築中の東和庁舎

問 各総合支所間で、より良い窓口対応がとれないものか。車を持っていないお年寄りの方々には、職員の自宅等で各種届出書証明書がとれるようにすべきと考える。

答 （町長）それぞれ総合支所で、定期的に会合を重ね、各支所間の足並みをそろえ、住民対応をしていく。職員に対しては、研修等を通じて研鑽し、住民の皆様にはご迷惑をかけないよう対応する。

広田清晴 議員

町長は国の悪政の防波堤に!!

問 小泉政治の実態は、貧富の格差拡大・自治体間の格差拡大で、まさに逆さま政治であった。町民への増税の状況は。

答 （町長）住民税の控除額の減は５種類。総人数は14,900人、総額6,280万円、一人当たり増税額は約4,200円。

問 今年の国民健康保険税、来年度の水道料金引き上げはすべきではなかった。影響額は。

答 （町長）国保税一人あたり63,129円（12,702円増）。一世帯あたり106,166円（20,214円増）。水道料金は２ケ月17t使用家庭で、年間2,040円の負担増（水量が増えれば影響額は増える）。

問 この様な町民負担増の中、大型事業を進めるには批判がある。後の世代に大きな負担を残す事になる。今後の償還計画は。

答 （町長）竜崎温泉、東和庁舎（星野記念館）、斎場、一般廃棄物処理施設で、総額約36億３千万円、（本町償還額は10億９千万円、残り25億4千万円は国の負担）。過疎債12年、合併特例債は20年で償還する。

問 岩国基地の拡大強化は、あくまで反対を貫くと共に、町民に対する説明会を求める。

答 （町長）閣議決定の主旨を基本とするも住民への負担、影響が少なくなるよう要望していく。２月頃、議員全員協議会、自治会説明会等を行う。

ここが聞きたい!!
4名が登壇

松井岑雄 議員

証明書交付申請書の簡素化を!!

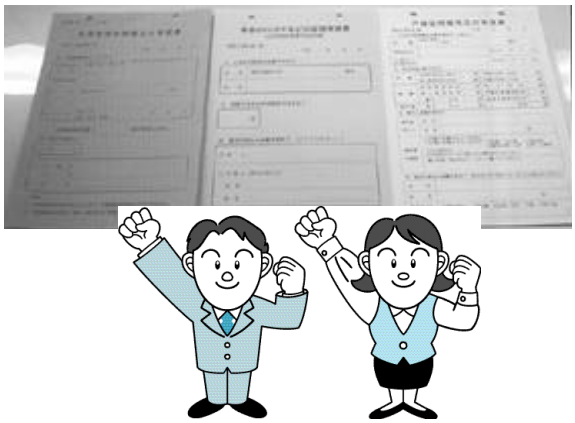
問 現在の単式簿記から複式簿記へ変更し、①貸借対照表②行政コスト計算書③資金収支計算書④純資産変動計算書の４つの財務諸表を公表し、発生主義をとり入れ、今後の本町の財政健全運営を計られたい。

答（町長）国に準拠した方針であり、本町も平成18年度分より、一般会計、特別会計の財務諸表の作成中であり、資産、債務の適切な管理、世代間の衡平、決算情報等、積極的に、住民に公表して参ります。

問 諸証明の交付申請時に、各種色別紙を使用しているが、住民が一度の記名で、各種の諸証明書の申請はできないか。

答（総務課長）法律上で、申請時の記載事項が異なり、年間６万件を超える枚数があり、申請書の保管年数の差位、及び、事務処理上困難である。住民の皆様に、親切・丁寧に対応し、説明させて頂く。

使用されている各申請書



平野和生 議員

中学校統合、早期決着を!!

問 中学校統合問題は、教育委員会から新たに４校案が提出された。現状では、モアベターな案だと思うが、東和中と久賀中は、耐震強度の不足が指摘され、補強ないし改築の必要があると聞くが、その場合の財源は確保されているのか。又、他の事業との見直しを考慮して行うのか問う。

答（教育長）４校案の場合、久賀中は築45年、東和中は築38年経過している。久賀中はコンクリートの強度はあるが東和中が強度不足の為、生徒の安全面を考え、まず先に東和中の改築をお願いしている所であり、久賀中は年次計画で補強、改築を行っていきたいと考えている。

問 私自身は、町内には、１校で、しかも新築の校舎を建ててやるのが１番だと思うが、財政面から考えると無理であろう。従って今回示された４校案を早急に決定して、子供達の勉学に不安のないよう補強、改築を望む。

答（教育長）校舎改築には、多額の費用が必要である。現段階では財源の確保はされていないが、今後、中学校統合問題について、議会の皆様の理解を頂いた後に、事業の見直し等を含め、町長部局と十分協議しながら財源の確保に努めていきたい。

東和中学校

議長に新山玄雄氏再任！　副議長には久保雅己氏再任！

11月27日の臨時議会において、議会構成の選挙がおこなわれ、議長・副議長とも再任されました。また、各委員会の構成は以下の通りです。

新年の抱負

希望の年に

議長　新山玄雄

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、本町の二人の名誉町民がクローズアップされる年となります。まず、日本を代表する作詞家星野哲郎先生です。今年7月に星野演歌の神髄を実感、体感できる星野哲郎記念館がわが町にオープンします。星野演歌は人生の応援歌です。町に元気とうるおいを呼んでくれるに違いありません。

もうお一人は、町おこしの大先達、民俗学者の宮本常一先生です。今年は宮本先生の生誕百年（誕生日は8月1日）の記念すべき年です。宮本民俗学は、地域の応援学です。地方分権のかけ声だけは高いようですが、今、地方は、大変厳しい状況の中にあります。生誕百年の記念事業の取り組みの中で、私達が暮らしているこの町の来し方と現在、そして未来を考え、その方向を生み出す場が生まれてくることを期待しています。

人口減少と高齢化の波は、さらに高くなっていますが、皆様と力を合わせ、心を合わせて今年もさまざまな課題にチャレンジして参りたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

副議長　久保雅己

共に手を携えて「故郷」周防大島の発展、活性化をめざして。

建設環境常任委員会

委員長　中本博明　新年おめでとう。島民が安心して暮せる静かな空ときれいな海を守る。
副委員長　田中隆太郎　みんなの町づくりをモットーに、議員活動をします！
委　員　伊東梅芳　共生できる温もりのある周防大島に向かって。
〃　浜戸信充　これからも議会の活性化を計り、厳しい目でチェックしてまいります。
〃　神岡光人　「あの島はすごい、行ってみるか！」そんな島にしませんか。
〃　田村三郎　無理のない、町民の為の、町民の目線にあった行政を…
〃　平村真成　やりたい事をやるのではなく町民がやってほしい事をやる「まちづくりを」
〃　黒田壇豊　財政再建と学校の統廃合問題を、最大の課題として取組む。

民生常任委員会

委員長　魚原満晴　「和衷協同」の心で、皆様の「手」と「足」となるよう本年も頑張ります。
副委員長　魚谷洋一　凡事徹底。何事にも全力投球で、皆様と共に取り組みます。
委　員　安本貞敏　すべての事に猛進で取り組みたい。特に地産地消にはより力を入れます。
〃　荒川政義　合併から2年、不満もありましょうが、智恵とパワーで魅力ある町創りを！
〃　松井岑雄　自分だけの幸福ではない。民を幸福にできる人が本当の幸福者である。
〃　広田清晴　憲法9条は国民の宝。戦争のない平和な国・町づくりに頑張ります。
〃　冨田安英　歳月かけて努力する以外に道はない。住民の一人、一人と対話持ち。
〃　小田貞利　地域格差のない公平な行政サービスが受けられるよう努力いたします。

総務文教常任委員会

委員長　伊藤秀行　勝負の年
副委員長　尾元　武　均衡ある町の発展と財政再建、やるべき政策との間で**是非**を明確に。
委　員　土手正喜　町の進むべき道を決定する案件が山積みの年。皆で町づくりの年に！
〃　平野和生　無駄をなくすよう努めます!!
〃　杉山藤雄　町づくりの原点（活力のある地域づくり）を研究してみる。
〃　木村　潔　猪突猛進ではなく、熟考し本当に望ましい町づくりに努めます。
〃　平川敏郎　不撓不屈（ふとうふくつ）の精神で。
〃　久保雅己・新山玄雄

議会構成

議会運営委員会
（平成18年11月27日選任）

委員長	荒川政義
副委員長	小田貞利
委員	伊藤秀行
〃	黒田壇豊
〃	広田清晴
〃	木村　潔
〃	中本博明
〃	田中隆太郎
〃	尾元　武

岩国基地関連対策特別委員会
（平成17年12月20日選任）

委員長	杉山藤雄
副委員長	小田貞利
〃	平野和生
〃	浜戸信充
〃	魚谷洋一
〃	松井岑雄
〃	広田清晴
〃	平川敏郎

地域活性化特別委員会
（平成17年６月15日選任）

委員長	神岡光人
副委員長	田中隆太郎
委員	安本貞敏
〃	荒川政義
〃	浜戸信充
〃	杉山藤雄
〃	松井岑雄
〃	黒田檀豊
〃	広田清晴

防災対策特別委員会
（平成17年 3月23日選任）
（平成18年12月19日終了）

委員長	田村三郎
副委員長	中本博明
委員	伊藤梅芳
〃	土手正喜
〃	平村真成
〃	魚原満晴
〃	冨田安英
〃	平川敏郎

地域活性化特別委員会　小委員会

交通体系		地産地消	
小委員長	広田清晴	小委員長	安本貞敏
	田中隆太郎		荒川政義
	松井岑雄		杉山藤雄
	黒田壇豊		浜戸信充
	神岡光人		田中隆太郎
	安本貞敏		神岡光人

議会広報編集特別委員会
（平成18年11月27日選任）

委員長	尾元　武
副委員長	魚谷洋一
委員	伊藤秀行
〃	平野和生
〃	木村　潔
〃	小田貞利

柳井地区広域消防組合
（平成16年11月26日選任）

魚谷洋一（議　長）
平村真成（副議長）

柳井地区広域事務組合
（平成16年11月26日選任）

尾元　武（副議長）
土　手　正　喜
（土手氏は平成18年11月27日選任）

柳井地域広域水道企業団
（平成16年11月26日選任）

神　岡　光　人
田　村　三　郎

監査委員（議選）
（平成16年12月16日選任）
松井岑雄

農業委員
（平成17年７月27日選任）
杉山藤雄

委員会報告

地産地消小委員会よりの報告

平成17年６月15日設置後、６名でスタートし、町内の状況を県、町の担当者より説明を受けた。つづいて、町内２ケ所（沖浦、東和地区）の直売所の視察をした。沖浦の直売所では、季節の野菜や花を中心に販売し、夏季は早朝４時頃より開店しており、固定客もでき、地元をはじめ各方面よりの来客があり、盛況だった。10％の手数料が、会の運営資金となっていた。東和地区では、鮮魚の朝市の視察を行った。毎週日曜日の朝８時より開催しており、魚種も多く鮮度の良い商品を安く提供していた。その後の委員会において、町内にどの程度の野菜や青果が市場より搬入されているのか、また、町内で実施されたアンケートなどについても、説明や調査結果の報告を受けた。

以上のことより、
①鮮度の良い農産物ほど消費者に喜ばれる。
②販売店で価格設定されたものよりも２～３割安く設定されているため、消費者に喜ばれる。
③農産物は出荷者の名前を見て購入する消費者がいる。
④対面販売を行っている売り場は、さらに安心して購入できると好評である。
などの点がいえる。

ルーラルフェスタ（日良居）

また、今後の課題としては、
①地元のものを販売する施設の整備が必要。
②観光との両面での交流を図る必要がある。
③学校や病院などの施設での地元産物の消費拡大。
④農魚産物を一ケ所で展示販売できる施設の整備。

防災対策特別委員会よりの報告

平成17年３月23日、９名が選任され、以後調査研究の委員会を８回、現地視察３回を行った。

これにより、“災害時における議員モニター制”を敷いた。これは、“震度５以上の地震が発生したとき、台風・大雨などで大きな被害が発生したとき、またそれ以外の大災害・大事案が発生したとき”には、全議員がそれぞれ指定された区域の視察を実施し、議長に対して町民の生命、身体に関することを最優先に報告し、ついで、被災状況の概要を報告することとしている。これにより、本委員会の所期の目的は、達成した。

行政視察

民生常任委員会

9月26日～27日

視察地　徳島県勝浦郡上勝町

高齢者が、元気で生き甲斐のある老後を過ごすための「高齢者対策」について研修した。

上勝町からは（株）いろどりの副社長 横石氏が、上勝町の現状及び取組みについて説明をした。

＊上勝町の現状

・人口2,086人、面積109.68km²内85.6%山林。
・四国の中で最も人口が少ない。
・高齢者　983人、高齢化率47.15%。
・地域資源活用の第三セクター会社が５社。
・寝たきりの人が少ない。
・一人当たりの医療費が市内と同じぐらい低い。
・ゴミの32種類に分別実施し、2020年までにゴミをゼロにする運動に着手。
・構造改革特区を利用し「有償ボランティア輸送」の実施。
・間伐材で木製バイオマスを活用した温泉施設。

＊「彩（いろどり）」の取り組み事業

紅葉、柿、南天等の葉、梅、桜、桃の花等を料理のつま物の材料に商品化。販売額２億５千万円程度。事業の特徴は次の通り。

・高齢者、女性が働く主体者（製品が軽い）。
・平均年齢70歳、190名が参加し活躍。
・高齢者でも扱える専用パソコンの開発。
・農家・農協・彩の三者が一体で運営。

この事業により、高齢者・女性の生き甲斐を得ることが出来、生活習慣病の防止で健康増進に繋がり、医療費抑制という効果を発生。

総務文教常任委員会

9月27日～28日

視察地　愛媛県南宇和郡愛南町教育委員会

本町で今まさに課題である「学校の統廃合」問題について、合併日も同じ、１村４町と合併規模も同程度であり、時を同じくして統廃合問題に取り組んでいるとのことで、お互いの現状や方法について討論した。

＊愛南町の特徴・取り組み

・高知県との組合形式での学校を保有。
・教育委員会とは別に検討委員会を条例にて設置、検討結果の答申案を議会に提出。
・校舎の耐震基準は29校中３校が基準以下。
・統合後の目標　小学校　全校で60名
　　中学校　１学年20名

＊本町との類似点

・少子高齢化・財政面という統合理由。
　（高齢化率44.8%は本町と同じ）
・統合後はスクールバスが必要という地理的条件。

時間が足らなくなるほどの討論で統廃合の困難さを再認識する研修であった。

翌日は、内子町のレトロ街並や、「フレッシュパークからり」（産地直売型道の駅第１号）による町おこしを視察し、有意義な研修であった。

要望書等の報告

内容の概要	提出者	備考
公立保育所の情報開示要望書	久美保育所保護者	議員配布
平成19年度予算での商工会助成要望書	県商工会連合会長	〃
日豪EPAに関する要望	山口大島農協組合長	〃

編集後記

引き続き頑張ります！

新春の門出にあたり、心よりお慶び申し上げます。この度２年の任期を満了致しました広報委員ですが、再任と成りました。委員一同広報の意義を再認識し、一層内容の充実をはかり、かつ読みやすく的確にをモットーに住民の皆様と議会のパイプ役として活動してまいります。研修会は積極的に参加し、広報クリニックと題して専門家の指導を頂いています。これ迄の経験を生かし、さらに充実した住民から関心を持たれ愛される広報づくりに専念してまいります。皆様の御意見をお寄せください。

委員長　尾元　武　　委員　伊藤秀行
副委員長　魚谷洋一　　委員　木村　潔
委員　平野和生　　委員　小田貞利

周防大島町ホームページ　http：//www.town.suo-oshima.lg.jp
なお、各図書館へは議事録を備えています。